

核兵器廃絶 1000 万署名、国連へ提出

KAKKIN は 8 月 9 日(日)、長崎市・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で核兵器廃絶を求める 1000 万署名を国連の中満泉・事務次長（軍縮担当上級代表）に手渡しました。

この 1000 万署名は昨年から KAKKIN、連合、原水禁の 3 団体で取り組んできたもので、今回は前回(2015 年)を上回る 823 万筆が集約できました。当初、ことし 4 月に核兵器不拡散条約（NPT）検討会議が開催される際、ニューヨークの国連本部で渡す予定でしたが、新型コロナの影響でこの日にずれ込んでいました。

署名は連合の神津会長が中満事務次長に目録を手渡し、KAKKIN からは渡邊議長代行が同席しました。

中満事務次長は関係者との会談の中で「核廃絶に向けた世界の活動を後押しいただいていることに感謝申し上げます。現在は軍縮と言うよりむしろ軍拡の方向に進んでいると感じており、その動きを止めて、軍縮の方へ向かうことが出来るよう、被爆 75 年を機会にしっかりと進めていきたいと思っています」と語りました。



左から中満次長、神津会長。右端は渡邊議長代行



1000 万署名の目録